

館石第3号先制ソコHR

	1	2	3	4	5	6	7	合計
根津鋼材	1	0	0	0	0	2	4	7
ニッコー様	0	0	0	0	0	0	0	0

渡邊は昨年3失点でニッコー様に敗戦している悔しさから、この日を待ち望み、リベンジに燃えていた。先発した渡邊は初回到四球と3番のセンター前ヒットでツアーアウト1・2塁のピンチを迎えたが威力ある速球で5番をキャッチャーフライに打ち取り無失点に抑える。2回以降、ランナーを出しながらも要所を抑える好投。見方守備の好守もあり、相手好投手の左腕に投げ勝った。優しいオーラを纏う渡邊だが内に秘める闘志で最後まで得点を許さず、昨年の雪辱を晴らし完封勝利で決勝進出を決めた。



生涯青春 渡邊完封 昨年の雪辱晴らし決勝進出

大会は雨天順延の影響で約1ヶ月の空白期間を経て、11・16に最終日の準決勝を迎えた。準決勝の相手はこれまで2年連続で敗退している強豪ニッコー様。快速球と低めに集める変化球に加え、要所での力を込めた投球に苦しめられた左の好投手を要し、守備の固い難敵となった。

打線はニッコー様の快速左腕対策として打順を組み換え。右打者をポイントに置きスタメンを組んだ。

初回、2死から3番館石の左中間に飛び込む第3号ホームランで1点を先制した。その後5回まではチャンスを作れず試合は両チーム共に膠着状態で進む。試合が動いたのは6回表。1死から2番一場がストリート弾き返しセンター前ヒットで出塁し、初回到先制ホームランを打っている館石に廻る。



館石の打ったサードゴロが相手の暴投を誘い、4番中井が四球を選び1死満塁続く5番の河野のショート横への強い打球を相手ショートが好捕。好判断で三塁アウトを狙ったが送球が逸れ、待望の追加点が入り均衡を破る。最終回の4点は失策に乗じたダメ押しで決勝進出を手繰り寄せた。



好リードで勝利に貢献の来須

予想通りの接戦となった準決勝。

ニッコー様は最終回まで全力で勝負をしてくる好投手を中心に振りの鋭い選手やバントヒットを狙ってくる選手等、最後まで気を抜けない強敵でした。対戦ありがとうございました。

